

本格的な夏が到来し、各地でもさまざまなイベントがたくさん開催されています。しかし、夏ならではの風物詩が、家族の一員である犬や猫を困らせていることを、知っていましたか？

その代表的なものが、「花火」です。もちろん花火そのものに問題はないのですが、花火が打ち上がる時の大きな音に、人の何倍も優れた聴覚を持っている犬や猫は、敏感に反応します。この大きな音の正体が花火の音だということが分からず、怖がっているのです。毎年、花火大会の季節には、大きな音にびっくりして逃げだし、そのまま迷子になってしまう犬や猫がい

あ
ん
し
ん
！
ペ
ツ
ト
ラ
イ
フ
⑪①

夏の風物詩には要注意！

ます。

また、心臓病やてんかん発作などの持病がある犬や猫については、特に注意が必要です。てんかんの発作は、音や光で引き起こされることもあります。また、心臓が弱い犬や猫は、大きな音に驚いて心臓に負担がかかり、症状が悪化することもあるのです。

外で飼っている犬や猫の場合は、花火が始まる前に、玄関や部屋の中に入れるなど、音から遠ざける工夫をしてみてください。また、花火の映像を見せておくなど、音に慣れさせておくのもいいかもし

れません。

日本の夏は高温多湿で、人間も体調を崩しがちです。体温調節が人間より苦手な犬や猫は、脱水症状を起こしやすく、犬や猫の熱中症も急増します。散歩はできるだけ朝や夕方などの涼しい時間を選び、水を飲む回数を増やすようにするなど、飼い主が気を配らなければなりません。健康に気を付けて、犬も猫も、楽しい夏を満喫できるといいですね。

(アニコム損害保険
獣医師 杉浦弘明)